

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 —「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える—

開催地：新潟

グループ： 4班

2024.8.8

生成AIについて

生成AIの活用と役割

- 人間のサポート
- 学習に活用する
- 生成AIに0から1を生み出してもらう
- 画像やテキストの生成で仕事の効率化

生成AIの誤情報・偽情報とは

- ・100%答えがあっているとは限らない

例:作品の内容を問いかけると異なる内容で出力される

例:存在しないことを生成できる

例:偽情報は悪用されることがある

誤情報・偽情報を超えるイメージ

- ・学校で生成AIの授業を取り入れる
- ・使いこなせる人にのみ使う権利を与える
- ・ファクトチェックツールを使って正誤を調べる
- ・情報源の確認
- ・ 様々な視点から情報を考える
- ・あくまで参考

高校生が自分たちでできること

- 動画などを作りSNSで呼びかける
- 世代の違う人にも教えられるようにする
- 自分が興味ないことにも触れる
- 学校の部活でおすすめの練習方法や予定を考えてもらう

提言

- 学校で生成AIの授業を取り入れる
- ちゃんと使える人にものみ使う権利を与える
- 生成AIを利用して活動する人のサポート